

令和2年度安全衛生推進大会・暴力団追放対策講習会の開催

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、行事の実施が制限され、また、会場の確保も困難になるなど、協会事業を例年どおり実施することが難しい状況が生じています。

そのため、今年度の安全衛生推進大会と暴力団追放対策講習会を、令和2年9月25日（金）神戸市教育会館6階大ホールにおいて同日に2部構成で開催することとしました。

ふたつの行事を同日に開催したため時間が長くなりましたが、例年どおり多くの会員の参加を得て、無事に開催することができました。

第1部の「安全衛生推進大会」は午後1時から、会員94名の参加のもとに開催しました。

この大会は、会員及び従業員の安全意識の高揚と安全活動の定着を図るため毎年実施しているものです。

はじめに当協会関係物故者並びに建設業殉職者の冥福を祈り黙祷を捧げた後、小山会長の挨拶に続いてご来賓の兵庫労働局労働基準部谷本安全課長様及び兵庫県県土整備部住宅建築局福澤設備課長様からご祝辞をいただきました。



小山会長 開会の挨拶



兵庫労働局谷本課長様 ご挨拶



兵庫県福澤課長様 ご挨拶

続いて、栗原技術・安全委員長から安全衛生優良工事表彰の選考経過について報告があり、表彰式に移りました。表彰は、国・県・市等から直接受注し、令和元年度（平成31年度）中に完成した県内の工事で、安全管理体制が確立して有効に運営され、工事期間中無事故・無災害で、かつ、施工技術が優秀なものを対象として、11名の現場代理人に小山会長から表彰状及び記念品が授与されました。

引き続き、出席者を代表して日本電設工業株式会社の相瀬城太郎氏が安全宣言を行いました。



表彰状授与



安全宣言

続いて安全講話にうつり、建設業労働災害防止協会兵庫県支部専務理事兼事務局長の家本和宜氏から「安全は誰が守る～労働災害事例からの反省～」と題して講演をいただきました。

家本講師は、兵庫労働局安全課長や神戸東労働基準監督署長などの要職を歴任された後、建設業労働災害防止協会において、建設現場などでの労働災害の防止についてご尽力されておられ、ご自身の経験に基づいて、具体的でわかりやすい内容の講演をしていただきました。



安全講話

休憩の後の第2部「暴力団追放対策講習会」では、はじめに「暴排の標（しるべ）～反社会的勢力を許さない社会へ～」と題するビデオで、暴力団の不当要求の手口とそれに対する企業としての対応方法に関する模範例を学び、公益財団法人暴力団追放兵庫県民センター専任講師の北野稔氏から「暴力団情勢と不当要求対応要領について」をテーマに講演いただきました。

北野講師は兵庫県警のOBで、在職中のほとんどを暴力団対策の刑事として、数々の暴力団犯罪の事件指揮を取り解決に結びつけるなど、暴力団対策に極めて精通されており、豊富なご経験に根ざしたお話しをしていただきました。

この講習会には会員91名が参加し、暴力団の現状、暴力団排除条例の意義、不当要求の実態とその対応要領などについて学ぶよい機会となりました。



北野講師の講演